



朝 5:00 西の空に 残月が 美しく 浮んで
います。1時間 が 経過しているのに まだ 見えません。
鶏が ~~さう~~ お布団から 出ないし ラジオ体操
遅れちゃうよ〜 と 盛んに 鳴いて くれます。
寒の頃は 星と月も 本当に きれい で ベットに 横たわっ
ているのが 大好きです。

日中の 青い空は その夜から 朝の 10時頃 まで 厳しい 寒さ
の証です。部屋を 暖かくして も なお 手のかじかむ 毎日です。
皆様 お健やかに 新年を お迎えの事と お愧び申しあげ
ます。良い一年で ありますよう、良い一年に なりますように。

お正月飾りを 整い 年賀状を 受付 終了 まで に出ず
こたが 出来。友子母と ティーサービスで 入浴が 済んで 新年を
迎えるばかりに なっていたのですが 29日の夜 9時25分
静かに 旅立ちました。その日は 午前11時頃 点滴を して
いたとき 私たちも 何の心配も なく それぞれの 用事を
していたのですが 午後3時 過ぎたから 呼吸が

少し 荒らくなり、パルスオキシメーターが 86 を 示しま
したので 少し 心配に なっては 来ました。8時 過ぎて 顎の
呼吸するようになり そうなると 最後の 時の 迫っているという事で
みんな集まり おはあ様に 声かけを しました。その 顎呼吸
の間隔が だんだん 長くなり やがて 動きが 止まりました。

103才 天寿を 全うされた 母の 最後でした。

正介が 小学1年生の時 夫、丈治と 亡くし 若くして
未亡人になった母は 姑御セツ(様)に 任せ 二人三脚で 三人
の子を 育て……苦勞の 連続 だった事 と思います。
正介が 成人して ようやく 肩の 荷が 降りて 従順な 母親と
親思いの 息子との 楽しい、うれしい 日々が 何列の 贈り物で
美しく 華やかな 母は 100才 まで 健康で 元気 その
でしたが 2020年の 10月に 転倒して 車椅子の
生活に なってしまいました。正介の 介護は やさしくて
思いやりが あって 素晴らしい ものでした。母の 大好きな
オムレツを 毎朝 作り 母と それを 毎朝 食べました。
大好きな 息子と 過ごした 時間は 最高の 宝と なる
母の 身体に 積み上げられて いったもの と思います。お元気が 頃
正介の 勧めで 書き残した 詩の 句です。

皆みなに 支えられつつ 長らへて
今 帰りゆく 君のみもとに
友子